

# 小笠原諸島日本復帰（返還）50周年について

小笠原諸島は、昭和43（1968）年6月26日に日本復帰をはたし、本年6月26日に日本復帰（返還）50周年を迎えます。

小笠原諸島の記念すべき年にあたり、小笠原の魅力取材いただき、広く都民、国民にご紹介下さいますようお願い申し上げます。

## 小笠原諸島返還50周年記念式典

### 開催概要

開催日	平成30年6月30日（土）
開催場所	大神山公園お祭り広場（東京都小笠原村父島）
主催	小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会
共催	東京都
後援	国土交通省

\* 記念式典の取材に関しましては、改めてご案内させていただきます



返還40周年記念式典 2008（平成20）年



返還40周年記念パレード



お問合せは

《小笠原村及び取材全般について》

小笠原村総務課

杉本 ☎04998-2-3111 Mail:soumu@vill.ogasawara.tokyo.jp

《返還50周年記念事業について》

小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会

今野 ☎04998-2-3941 Mail:info@50th.anniv-ogasawara.gr.jp

## 小笠原諸島返還50周年 イベントカレンダー

平成30年 2018年

1月	1日	海びらき	父島	母島	
	20日	天体観望会	父島		
	26~28日	「小笠原凧」作り方教室		母島	
2月	12日	小笠原DAY2018参加			東京
	・	おいし〜ま小笠原 レシピコンテスト募集開始	父島	母島	
3月	5~14日	ガラパゴス諸島との学生交流	父島	母島	
4月	18・19日	おいし〜ま小笠原 創作料理講習会		母島	
	30日	小笠原村産業祭	父島		
5月	上旬	母島フェスティバル		母島	
	21・22日	50周年記念寄席	父島	母島	
	26・27日	島じまん2018参加			東京
6月	上旬	沖ノ鳥島ツアー	父島		
	17日	母島ゲートボール大会		母島	
	6月~7月	天体観望会	父島	母島	
	23・24日	母島返還祭・大花火大会 (予定)		母島	
	26日	父島返還祭	父島		
	30日	返還50周年記念式典・祝賀パレード	父島		
6月	26日	50周年記念誌発行/配布 (予定)	父島	母島	
	・	風のように流れる島の音楽CD完成/配布	父島	母島	
7月	・	中吉丸歴史継承・交流事業	父島		
	中旬	アウトリガーカヌーレース大会	父島		
	26・27日	島じよ高校生サミット	父島		
8月	8月~9月	サマーフェスティバル	父島		
	・	天体観望会	父島		
	中旬	大花火大会	父島		
	下旬	母島納涼祭		母島	
9月	・	小笠原の過去・現在・未来を捉えるドキュメンタリー映画上映	父島		
	下旬	アウトリガーカヌーレース大会		母島	
	29日	50周年記念内地イベント			東京
10月	7・8日	文化歴史交流祭	父島	母島	
	21日	明日を考えるシンポジウム	父島	母島	東京
	26~28日	大音楽祭	父島	母島	
	10月~12月	父母交流スポーツ大会	父島		
11月	中旬	三社合同神輿渡御	父島		
	・	オガグワの森プロジェクト	父島		
	・	八八モリプロジェクト		母島	
	11月~12月	小中高合同同窓会	父島	母島	
12月	下旬	50周年記念剣道大会	父島		

\* イベントスケジュールは平成30年1月5日現在の内容です。今後日程及び内容等が変更することがあります。

## 小笠原諸島の歴史・文化

小笠原諸島は人の定住からの歴史がわずか200年に満たない島ですが、この間激動の歴史を辿ってきました。

最初の定住者はハワイ諸島からやって来た欧米人。後に日本領になり繁栄を誇ったものの太平洋戦争の戦況の悪化により全島民が強制疎開させられ、戦後は23年間にわたる米国統治を経て昭和43年に日本に復帰しました。

このような歴史的背景により、小笠原村には多様な文化が伝わっています。

### 《小笠原諸島のあゆみ》

1593（文禄2）年	小笠原貞頼により発見されたと伝承されている
1830（文政13）年6月26日	欧米人や太平洋諸島民20数人が初の定住者となる
1876（明治9）年	国際的に日本領土と認められる
1944（昭和19）年	太平洋戦争により、全島民が内地へ強制疎開
1946（昭和21）年	米国の占領下に置かれる
1952（昭和27）年4月28日	対日講和条約が発効され、米国の施政下に
1968（昭和43）年6月26日	小笠原諸島日本復帰
2018（平成30）年6月26日	小笠原諸島日本復帰（返還）50周年



小笠原諸島返還式 1968（昭和43）年



南洋踊り（南洋諸島から伝来）



島寿し（八丈島から伝来）



アウトリガーカヌー（ハワイから伝来）

## 小笠原諸島の自然

碧い海、緑の木々があふれる島々、亜熱帯の自然は小笠原の最大の財産、資源です。小笠原諸島の大部分は、1972（昭和47）年に小笠原国立公園に指定されています。

2011（平成23）年には、小さな海洋島における生物の進化を示す典型的な見本として、世界的な価値を持つことが認められ、日本で4番目の世界自然遺産に登録されました。



父島周辺の海



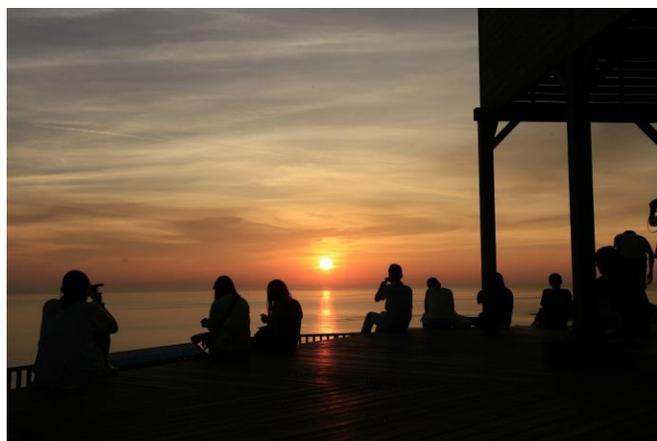
母島乳房山からの眺望



父島 二見湾



母島 石門



夕日 父島三日月山展望台

## 動植物

島の誕生以来、一度も大陸と地続きになったことがない小笠原諸島では、動植物が隔離された環境で進化をしてきたため、他の地域では見られない固有種が数多く存在し、特に陸産貝類や植物、昆虫類においては、今なお進行中の進化の過程を見ることができます。

また、周辺海域にはザトウクジラやミナミハンドウイルカなどの鯨類が周遊、生息し、小笠原を訪れる観光客を楽しませてしています。



ハハジマメグロ（特別天然記念物）



アカガシラカラスバト（天然記念物）



ザトウクジラ



ムニンツツジ（国内希少野生動植物種）



母島石門の木性シダ林

## 魅力ある観光地

亜熱帯の島小笠原。

世界自然遺産地域の山へ。

どこまでも透きとおる碧い海へ。

ちょっと不便ですがリピーターの止まない魅力ある観光地です。



南島扇池



ホエールウォッチング



ドルフィンスイム



フィールドトレッキング



郷土資料館（ローズ記念館）

## 島の生活

内地（＝本土。島での呼称）から1,000km。交通手段は6日～7日に1便の定期船が唯一。

同じ村内でさえ父島と母島も50km（東京駅から茅ヶ崎市・高尾山・つくば市程度）も離れている島の生活は、内地とは一風異なります。

自然に恵まれ豊かな面もあれば、離島がゆえの不便な一面もあります。



父島メインストリート



内地からの物資は週1回



定期船が内地との唯一の足



漁港の水揚げ



急病人は自衛隊機で内地へ搬送

## 大洋に開かれた村

小笠原村の父島・母島は、東京と日本の最南端・最東端をなす沖ノ鳥島・南鳥島を結ぶ三角形のほぼ中央にあたり、小笠原諸島は、日本の排他的経済水域の約3割という広大な海域を擁しています。

このことは水産資源の活用にとどまらず、天然資源の開発などの海洋開発などにおいて大きな役割を果たしており、今後も海洋研究・海洋開発などの拠点として大きな可能性を有しています。

小笠原村は太平洋上の拠点として、今後も交通基盤や通信基盤を強化するなど、一定の都市機能を確保し、海洋立国へ貢献していきます。

